

貯 法	遮光して室温保存
-----	----------

動物用医薬品

プレウロムチリン系抗生物質

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

承認指令書番号	2 動薬第 433 号
---------	-------------

チアムチン水溶散

【本質の説明又は製造方法】

豚赤痢及び豚増殖性腸炎は、豚の消化器系疾患の中でも大腸菌症などとならび重要な疾病の一つとされております。

特に豚増殖性腸炎は急性型と慢性型の2種類が報告されており、慢性型は急性型に比較し臨床所見に乏しく死亡率も低いのですが、罹患豚は発育不全を引き起こし、経済的損失が大きい疾患の一つです。

弊社では本剤が、豚増殖性腸炎の起因菌であるローソニア イントラセルラーリスに対して有効であることを確認し、生産性の指標である増体重、飼料摂取量及び飼料要求率の向上が認められたため、慢性型豚増殖性腸炎の効能を追加致しました。

豚赤痢及び豚増殖性腸炎罹患時においては、一般的に飼料摂取量は低下しますが飲水量は低下しないことが知られており、諸外国においても罹患豚の治療は飲水投与による方法が広く行われております。

本剤は罹患豚の個体治療はもちろんのこと、疾病による汚染豚舎の豚のクリーニング及び発症予防等にその応用が期待されます。

【成分及び分量】 本品100g中

成 分	分 量
チアムリンフマル酸塩	45 g (力価)

【効能又は効果】

有効菌種

本剤感受性のブラキスピラ ハイオディセンテリー、ローソニア イントラセルラーリス

適応症

豚：豚赤痢、慢性型豚増殖性腸炎

【用法及び用量】

豚：豚赤痢

本剤の下記量を飲水に均一に溶解し、3～5日間経口投与する。

飲水1L当たり、0.1～0.13g(チアムリンフマル酸塩(力価)として45～60ppm)

豚：慢性型豚増殖性腸炎

本剤の下記量を飲水に均一に溶解し、5日間経口投与する。
飲水1L当たり、0.13g(チアムリンフマル酸塩(力価)として60ppm)

【使用上の注意】

「基本的事項」

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。

- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
- ・本剤の使用に当たっては、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- ・本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

豚：食用に供するためにと殺する前5日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤は飲水溶解時、鼻粘膜等を刺激することがあるので、取り扱いに際してはマスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないよう注意すること。
- ・皮膚に付着したときは、石けん等でよく洗うこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤は遮光して保管すること。また、本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って本剤を飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けること。

(豚に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

「専門的事項」

(相互作用)

- ・本剤はポリエーテル系の抗生物質(モネンシン、サリノマイシン等)との併用は避けること。

(副作用)

- ・チアムリンを投与した豚の排泄物等に長時間接触することで皮膚炎、紅斑等の皮膚障害が認められたとの報告がある。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 500g(100g×5分包)

【製品情報お問い合わせ先】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1


フリーダイヤル 0120-452-793


受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元

提携先

 日本全薬工業株式会社
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

 エランコアニマルヘルス
(米国)

Elanco、: エランコ又はその関連会社の商標です。

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。